

楽しかったサマーキャンプ

千
ユ
ー
リ
ッ
ヒ
日
本
人
学
校
学
校
便
り

希望



2018年7月13日(金)
第12号
発行 校長 東 明 彦

7月9日(月)～11日(水)の2泊3日のサマーキャンプが終わりました。まずは無事に3日間の活動を終え、全員元気に帰ってこられたことが何よりも素晴らしいことだと思っています。保護者の皆様には、準備から前日までの健康チェックなど、大変にお世話になり、ありがとうございました。サマーキャンプの様子を少し振り返ってみると……。

サマーキャンプの目的は3つでした。1つ目は「まわりのことを考えよう」、2つ目は「5分前行動をしよう」、3つ目は「笑顔であいさつしよう」でした。3つの目的のうち、2つは大変によく達成できたと思います。しかし、「笑顔であいさつしよう」については課題です。決まったときにするあいさつはできていましたが、「自分で自主的にあいさつをする」時には不十分だったように思います。これは、普段の学校生活でも言える

ことですが、大切なのは人から言われたからあいさつができるのではなく、自分から進んで、その場に合ったあいさつをすることだと思っています。「あいさつ」とはそもそもどんな言葉なのでしょう。

あ: あいてよりも先に **い**: いつでもどこでも **さ**: さわやかで **つ**: つながる心をもって 交わす言葉があいさつだと私は教わりました。漢字で書くと「挨拶」と書きますが、どちらの漢字も「心を開いて相手に近づく」という意味なのだそうです。この「自主的にするあいさつ」は、本校の今後の課題です。

1日目は、ホテルまでの移動と、J S班でのオリエンテーリングでした。中学部と高学年のリーダーたちが、下の学年の子どもたちの様子を見ながら、テキパキと行動していたのがとても印象的でした。この日は、川原でお弁当を食べましたが、みんな美味しそうに完食しました。Schwarzwaldalp から Gletscherschulcht までのハイキングでした。この日は、合計で12,114歩、歩きました。



1日目昼食

2日目は、クラス別研修です。クラスで相談して、どのコースを選び、どんな活動をするかを考えて計画を立てました。早朝は青空が見えていましたが、午前10時頃から午後にかけては雲が出てきました。2年生たちは、佐々木先生と山口先生に付き添っていただき、Muggestutz コースを歩き、香り袋のにおいを実際にかいでみたり、道々の花に見とれたりしながら帰ってきました。川にかかっている小さなゴンドラが楽しかったと言ってくれました。3・4年生は前田先生と私が付き添い、Magisalp から Kaserstatt までハイキングをし、途中2年生たちのグループと一緒に弁当を食べ、後半はモンスター・トロツィーで Bidim まで降りてきました。最後はマイリンゲンの街を散策し、お土産も買うことができました。6年生は、Gelmersee を1周するコースを歩きました。この場所は1日中晴天で、湖の色と周りが溶け合っ



2日目6年生

て素晴らしい景色だったそうです。藤本先生と桑野教頭先生に付き添っていただきました。最初に予定していたケーブルカーが満員で乗れず、時間を遅らせて目的地に向かうことになりましたが、時間の余裕をみて計画していたことが幸いして、時間内に活動を終えることができました。途中、足を水につけてしまったり、水かけバトルがあったり……楽しい活動だったようです。中学部は、ロープウェイで一気に Alpen Tower まで上がり、そこから長い山道を下るコースのハイキングでした。曇っていたため周りの山々の景色を存分に見ることはできなかったようですが、途中からはトロツィー・バイクで一気に山を下りました。最後はマイリンゲンの街を散策し、お土産をゲット！2日目はどの学年もよく歩いたと思いますが、3・4年生では21,176歩のハイキングでした。

最終日の3日目、この日は Aareschulcht 西口から、いろいろな滝やアーレ川の景色を堪能しながら、途中では休憩して俳句を考え、最後は Aareschulcht 東口でバーベキューの昼食でした。ここでも、中学部と高学年のリーダーたちが活躍し、マッチで火をつけようとしたのですが、なかなかマッチに点火せず、



3日目アーレ川

1人3回ずつ点かなかったら次の人、というルールで回してようやく着火！後は、低学年の子どもたちのソーセージから焼いてあげていました。実に手際よくバーベキューをしてくれました。昼食後は写真撮影をしてホテルに戻り、ホテルのオーナーの Simon さんにお礼を言いました。代表して中学部の生徒がとてもきれいな発音の英語であいさつをしました。帰りの電車の中も、みんなウノをしたり、おしゃべりをしたり、最後まで元気に活動し、ウスター駅に到着しました。3日目は 11,295 歩でした。3日間の合計は、私の計測では 44,585 歩となりました。たくさん話をして楽しい3日間でした。

本の紹介 フックトーク

保護者の皆様にも本の紹介をお願いしていましたが、先日その紹介文をお預かりしました。ありがとうございました。今後、機会あるごとに、このような本の紹介を掲載したいと思います。なお、ご無理を言ってお名前をそのまま書かせていただいています。

『センス・オブ・ワンダー』

レイチェル・カーソン 上遠 恵子 訳 新潮社

『沈黙の春』で有名な生物学者カーソンの作品です。作者が小さな甥っ子と一緒に自然の中で過ごした時間について書かれています。センス・オブ・ワンダーとは、未知なものに驚き、何だろう？と興味を持つ感性のことです。こんな風に子どもを育てられたら（育てたかった）……！
A さん

こんな俳句ができました!!

- | | | | |
|------|--------|----------|--------|
| A さん | 夏のもり | ピッピッピ | 鳥のこえ |
| B さん | お年玉 | もらってうれしい | つかわない! |
| C さん | 子うまにね | つばめがちゃんと | のってたよ |
| D さん | つららはね | すごくとんがる | ものもある |
| E さん | 天の川 | 星と星とが | とけあうよ |
| F さん | 夕焼けに | ぼくの悩みを | 打ち明ける |
| G さん | 地面まで | 競争してる | つららかな |
| H さん | クリスマス | サンタあわてる | 二日間 |
| I さん | 目をつぶる | 赤い夕焼け | 山の上 |
| J さん | ドゥオーモの | 日射しに負ける | 午後三時 |

サマーキャンプでも俳句をつくってみようと呼びかけています。スイスでつくる俳句は、日本でつくった俳句とはひと味もふた味も違う趣をもっているように思います。季語は1つだけでつくること、「きれい」「楽しい」「おいしい」といった直接的に感情を表す言葉を使わないで、経験したことを具体的に言葉にしてみることで、五七五の十七音に当てはめて言葉を何度も入れ替えてみることで、などに気をつけてつくってみよう、と言っています。楽しい俳句が生まれますように……

学校評価のアンケート ありがとうございます。

学校評価にかかる保護者用のアンケートは、全家庭からご提出いただきました。ありがとうございました。現在、ご意見も含めてまとめているところです。児童生徒のアンケート結果、教職員のアンケート結果を加えて、学校評価の基礎データにいたします。このアンケートの結果については、2学期はじめの情報交流会でお知らせし、今後の課題も含めてご報告する予定です。2学期からは転入児童を含めて、現時点では18名の児童生徒でスタートになる予定です。チューリッヒ日本人学校のよいところをさらに伸ばし、課題を乗り越えてプラスに転化できるよう、職員一同が共通理解をして教育活動を進めていきます。今後ともよろしくお祈りします。1学期間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

お知らせ

8月27日（月）に、校舎の1階とその隣のオフィスで仕事をされている Farfalla さんが、イベントをおこなうということで体育館を使用されます。当日の体育の授業は外で実施する予定ですが、雨天の場合の体育授業や放課後の遊びの時間等については、変更が必要になってくることも考えられます。

現時点では、どのようなイベントになるのかについての詳細な情報はまだない状況ですが、具体的なことがわかり次第、教職員で検討して保護者の皆様にもご連絡いたします。

急な変更等が出てくるかもしれませんので、その点についてもご理解の上ご協力をお願いいたします。まずは、概略のみお知らせいたします。